

組合員名簿

(2026年10月現在)

SDGs宣言会社

■北海道

●北海道		
○(株)辻商会	旭川市	TEL.0166-47-2771
○(有)まるふく八田商会	上川郡	TEL.0165-34-2457
(株)アシスト・フクダ	函館市	TEL.0138-48-2000
(有)プロス	江別市	TEL.0111-380-2633
○(株)ピークル	苫小牧市	TEL.0144-51-8008
○(株)ケーエー車輛	北広島市	TEL.0111-377-5577
(株)空知オートパーツ	赤平市	TEL.0125-34-4100
○(有)オカダオートパーツ	河西郡	TEL.0155-62-6833
○釧路オートリサイクル(株)	釧路市	TEL.0154-57-3718
○(株)ポールド	北見市	TEL.0157-66-5775
○札幌ホンダ(株)SHライズ	札幌市	TEL.0111-802-2121
(株)南商会	札幌市	TEL.0111-882-1770

■東北

●青森県		
○(有)むつノパーツ	むつ市	TEL.0175-22-1021
○(株)エコブリッジ	八戸市	TEL.0178-38-6558
●秋田県		
(有)サン・アール	由利本荘市	TEL.0184-22-5740
(株)現代	鹿角郡	TEL.0186-29-3990
●岩手県		
(有)三陸パーツセンター	下閉伊郡	TEL.0193-81-1155
●山形県		
(株)永田プロダクツ	酒田市	TEL.0234-43-1272
●宮城県		
(株)西武オートパーツ	大崎市	TEL.0229-23-3071
(有)大友自動車工業	名取市	TEL.022-386-2461
(株)アイエス総合	登米市	TEL.0220-21-5153
●福島県		
○(株)福島リパーツ	郡山市	TEL.024-946-1180
(有)安澤商店	西白河郡	TEL.0248-27-1736
(有)富山商会金屋工場	郡山市	TEL.024-944-1280
(株)オートセンターNAO	大沼郡	TEL.0242-55-1055
○(株)ナプロアース	伊達市	TEL.024-573-8091
(有)カンジ自動車商会	福島市	TEL.024-555-5131
(株)デック	いわき市	TEL.0246-47-1521
○(有)榎並商会	郡山市	TEL.024-944-4100

■北関東

●茨城県		
○(株)茨城オートパーツセンター	小美玉市	TEL.0299-48-1398
(有)田嶋商店	結城市	TEL.0296-32-1893
(有)ポブラ	那珂市	TEL.029-350-6501
●栃木県		
(株)トチバ	佐野市	TEL.0283-23-3256
○(有)しのぶや みどり工房	那須郡	TEL.0287-74-3077
●群馬県		
○(株)拓殖商会	伊勢崎市	TEL.0270-76-3683
カースチール(株)	前橋市	TEL.027-251-6365
カースチール(株) 東毛営業所	太田市	TEL.0276-56-6411
●新潟県		
○(株)共伸商会	新潟市	TEL.025-255-4111
(有)黒埜部品	新潟市	TEL.025-377-2410
リ・パーツ(株)坂井自動車	新潟市	TEL.0250-61-0501
●埼玉県		
○(株)3R	久喜市	TEL.0480-26-3559
○(株)CRS埼玉	川越市	TEL.049-228-5111
リパー(株) ELV川島	比企郡	TEL.049-299-2733

■南関東

●東京都		
(有)オートパーツ片岡	西多摩郡	TEL.042-556-2735
○三協自動車(株)	調布市	TEL.03-3300-0685
●千葉県		
(有)オートパーツ千葉	匝瑳市	TEL.0479-73-0830
(株)トキオ	佐倉市	TEL.043-498-2461

(有)オートサービス東関	千葉市	TEL.043-257-9449
(有)リサイクルガレージケーワン	船橋市	TEL.047-457-5758
(有)ベストパーツ	市原市	TEL.0436-24-4182
リパー(株) ELV柏	柏市	TEL.04-7190-0980
●神奈川県		
○(株)大橋商店	横浜市	TEL.045-761-6551
(株)ユピック	横浜市	TEL.045-642-5423
日産神奈川販売(株) サービス本部SR推進部	横浜市	TEL.045-823-2312
(有)トライアル	横浜市	TEL.045-595-3035
○(株)杉之間	小田原市	TEL.0465-46-1082
(株)コ・エイ リサイクルパーツ・厚木店	厚木市	TEL.046-220-1441
●山梨県		
○(株)テラダパーツ甲府営業所	中巨摩郡	TEL.055-287-7761
●静岡県		
(株)ヤタパーツ	沼津市	TEL.055-921-9678
○(株)マルトシ青木	藤枝市	TEL.054-644-5656
太田部品(株)	御殿場市	TEL.0550-89-5110
(株)コ・エイ	浜松市	TEL.053-462-1128
○オレンジパーツ平成	静岡市	TEL.054-253-5646
○(株)アンドカーパーツ	下田市	TEL.0558-28-0939

■北陸

●富山県		
(株)ハセ川自動車	滑川市	TEL.076-477-9700
○(有)山一商店	小矢部市	TEL.0766-67-2721
(有)堀川自動車商会	氷見市	TEL.0766-74-3022
●石川県		
○(有)ツクダ自動車	白山市	TEL.076-276-1593
○(株)金沢ヨコイ部品	金沢市	TEL.076-239-4510
(株)リベア	七尾市	TEL.0767-57-2114
(有)メタルオート北陸	小松市	TEL.0761-21-0168
●福井県		
(有)サンシャインネットパーツ	福井市	TEL.0776-57-1236
(株)ナカスジオオートパーツ	坂井市	TEL.0776-51-3253
R-FACTORY	越前市	TEL.0778-43-5844

■東海

●長野県		
○(有)小諸パーツセンター	小諸市	TEL.0267-23-7588
○(株)アートパーツ長野	松本市	TEL.0263-40-2100
(株)ハセ川自動車長野営業所	中野市	TEL.0269-24-7124
(株)ハセ川自動車松本営業所	松本市	TEL.0263-50-5095
○(株)テラダパーツツイダ	下伊那郡	TEL.0265-49-8522
○(株)テラダパーツ諏訪営業所	諏訪郡	TEL.0266-78-3538
●岐阜県		
○KMI (株)	養老郡	TEL.0584-36-0022
○エコパーツ岐阜(株)	可児市	TEL.0574-62-2328
(有)山一商店高山営業所	高山市	TEL.0577-35-5963
●愛知県		
○(有)名古屋解体メイカイパーツ	名古屋市	TEL.052-736-4741
○(株)カーグリーコマゼン	弥富市	TEL.0567-68-4182
○(株)テラダパーツ	刈谷市	TEL.0566-22-3709
○(有)佐竹自動車部品	豊田市	TEL.0565-52-0015
○(有)サイトウパーツ	豊川市	TEL.0533-86-2408
○(有)川原商会	一宮市	TEL.0586-62-1757
○(有)ジーパーツ	知多郡	TEL.0569-74-1007
○(株)ワーブ	岡崎市	TEL.0564-27-7022
○(株)テラダパーツ半田営業所	半田市	TEL.0569-25-0045
●三重県		
○(有)オートパーツまるも	四日市市	TEL.059-329-3987
○(有)富士クラッチ工業所	四日市市	TEL.059-364-5252
○(株)マーク・コーポレーション	鈴鹿市	TEL.059-371-6330

■関西

●滋賀県		
(株)カンザキ	東近江市	TEL.0748-22-1389

●京都府		
(株)エコパーツ京都	八幡市	TEL.075-983-9991
(株)ラ・テール	京都市	TEL.075-681-3431
(株)金子商会	舞鶴市	TEL.0773-82-0130
●大阪府		
○吉村エコパーツ	羽曳野市	TEL.072-958-3454
○(株)多田自動車商会大阪営業所	大阪市	TEL.06-6682-8861
(株)桜井 大阪支店	大阪市	TEL.06-6551-7777
●兵庫県		
○(株)多田自動車商会	三木市	TEL.0794-83-0162
(株)堀尾自動車部品	姫路市	TEL.079-298-4650
(株)桜井	尼崎市	TEL.06-6414-2222
●和歌山県		
(株)草山パーツ	和歌山市	TEL.073-477-0532
(株)紀南パーツ	日高郡	TEL.0739-84-2222

■中四国

●岡山県		
○フレストパーツ(株)(中村解体)	倉敷市	TEL.086-446-2041
○(株)桃太郎部品	岡山市	TEL.086-244-1100
岡崎車輛部品(株)	瀬戸内市	TEL.0869-66-8511
○ウェイクパーツ(株)和気商店	岡山市	TEL.086-243-6059
●広島県		
○(株)福山セコ	福山市	TEL.084-953-3201
エコテック(株)	山県郡	TEL.0826-72-0001
○(株)エビス	安芸郡	TEL.082-884-1111
●山口県		
○(株)オートパーツ幸城	宇部市	TEL.0836-44-2412
●鳥取県		
○(有)東和	東伯郡	TEL.0858-52-2998
○(有)西川商会	鳥取市	TEL.0857-28-9011
●島根県		
○(有)山陰UP販売	安来市	TEL.0854-23-2466
(株)山陰エコ・リサイクル	松江市	TEL.0852-72-9301
島根オートリサイクルセンター	出雲市	TEL.0853-25-9000
●香川県		
○(株)佐伯商会	高松市	TEL.087-840-3133
●愛媛県		
(有)オートパーツ新居浜	新居浜市	TEL.0897-67-1577
(株)予洲商事	今治市	TEL.0898-32-0384
●徳島県		
徳島オートパーツ(有)	板野郡	TEL.088-672-7773
○(有)青木興業	小松島市	TEL.0885-32-1875
●高知県		
(有)みうら	高知市	TEL.088-833-2072
(有)國東商店	四万十市	TEL.0880-35-6181

■九州

●福岡県		
(株)グッバー福岡	大野城市	TEL.092-404-7355
○(有)イノクチ	筑後市	TEL.0942-53-7617
(株)エイ・ティ・エム	京都郡	TEL.093-435-2082
大成自動車(有)	粕屋郡	TEL.092-623-7000
○WARC西日本オートリサイクル(株)	北九州市	TEL.093-752-3270
○(有)オートリサイクルナカシマ福岡	筑紫野市	TEL.092-926-6008
グッバー福岡生産工場	朝倉郡	TEL.0946-23-8093
●長崎県		
○(株)パーツライン	佐世保市	TEL.0956-33-1532
○(株)アール・トーヨー	長崎市	TEL.095-884-2781
●大分県		
○(株)オートリサイクルナカシマ	日田市	TEL.0973-23-0327
オートパルス ニホウ	宇佐市	TEL.0978-34-0034
●熊本県		
○(株)パーツランド東部	合志市	TEL.096-248-2333
○(株)オートパーツ伊地知熊本営業所	熊本市	TEL.096-364-0238
(有)まこと商会	八代市	TEL.0965-37-1371
●宮崎県		
○(有)ユービー宮崎	北諸県郡	TEL.0986-52-7054
●鹿児島県		
○(株)オートパーツ伊地知	鹿児島市	TEL.099-267-0468
(有)タバタ商会	鹿屋市	TEL.0994-43-2068



自動車リサイクルに貢献する全国ネットワーク

NGP SUSTAINABILITY REPORT 2026



令和3年度
気候変動アクション
環境大臣表彰



EcoPro Awards



NGP UPCYCLE PROJECT

このレポートは、使用済み自動車の中から回収した取扱説明書をリサイクルした紙を使用しています。
NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合では通常廃棄されるようなものから価値あるものへ生まれ変わらせるアップサイクルに取り組んでいます。

詳しくは NGP ホームページ

<https://www.ngp-gr.jp/upcycle/>



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

株式会社NGP

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F

TEL : 03-6705-1208 FAX : 03-6705-1209

<https://www.ngp.gr.jp>



FSC®森林認証紙、ノンVOCインキ(石油系溶剤0%)を使用し、再生可能エネルギー100%で印刷しています。



NGP SUSTAINABILITY REPORT 2026



Index

トップメッセージ	3
NGPが目指すサーキュラーエコノミー	4
SDGs宣言と2030年の目標	6
目標に対しての2026年度活動報告(2025年9月～2026年8月)	8
2026年度の活動報告	18
沿革	26
組合概要	27

トップメッセージ

昨年、ブラジル・ベレンで開催されたCOP30(国連気候変動枠組条約第30回締約国会議)では、パリ協定の1.5℃目標達成に向けて、各国に2035年に向けた温室効果ガス削減目標(NDC)の早期提出が求められました。また、各国の削減目標を着実に実行へと結び付けるため、気候資金の拡充や国際協力の強化について議論が行われました。

世界では、「カーボンニュートラル」と「サーキュラーエコノミー」の実現に向けた取組みが加速しています。EUでは、2026年6月18日に使用済み自動車規則(ELV規則)が承認されました。同規則では、新車に使用する再生プラスチックを25%、さらにそのうち使用済み自動車(ELV)由来の再生プラスチック比率を20%とする方針が盛り込まれており、自動車産業全体における資源循環の重要性が一層高まっています。

日本においても、経済産業省の主導のもと、2026年4月より自動車リサイクル事業者等に対するインセンティブ制度が開始されました。ASR(自動車破砕残さ)の削減や再資源化の高度化、高品質な再生資源の供給など、自動車リサイクル産業には従来の廃棄物処理の枠を超えた役割が求められています。また、自動車メーカー各社も循環型ものづくりへの取組みを進めており、トヨタ自動車は2030年までに再生樹脂の利用量を現在の3倍以上に拡大する方針を掲げるなど、自動車産業全体で資源循環を前提とした社会への転換が進められています。

こうした社会的要請の高まりの中、NGPでは長年にわたり大学との共同研究を通じて、自動車リサイクル部品の活用によるCO₂削減効果の研究に取り組んでまいりました。そして2026年には、その研究成果を基盤として、自動車リサイクル部品の活用によるCO₂削減効果を評価する世界初の方法論の策定に参画いたしました。これにより、これまで定量化が難しかったリユース部品の環境価値を客観的に可視化する仕組みが整備され、自動車産業における脱炭素化とサーキュラーエコノミーの推進に向けた新たな一歩となりました。

さらにNGPでは、この方法論を活用し、自動車リサイクル部品の環境価値をカーボンクレジットとして創出を目指します。自動車リサイクル部品の利用による環境価値を社会全体で共有し、その価値を循環させる仕組みづくりを通じて、自動車リサイクル産業の持続的な発展と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

私たちNGPは、全国の組合員ネットワークを活かし、使用済み自動車の適正処理、リユース部品の生産・流通、さらには鉄・アルミ・銅・プラスチックなどの資源循環に取り組んでいます。これらの活動を通じて、CO₂排出量の削減、資源の有効利用、廃棄物削減に貢献してまいりました。しかし、カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーの実現は、自動車リサイクル業界だけで達成できるものではありません。自動車メーカーや部品メーカー、整備事業者、保険会社、そして消費者を含めた多くのステークホルダーとの連携が不可欠です。私たちは静脈産業としての役割にとどまることなく、動脈産業と連携しながら高品質な資源やリユース部品を供給する「リソーシング産業」として、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

今後も、自動車リサイクル部品の利用拡大や資源循環の高度化を推進するとともに、組合員や関係者の皆様と力を合わせながら活動の幅を広げ、自動車リサイクルを通じた環境価値の創出に取り組んでまいります。そして、未来を担う子どもたちへ豊かな地球環境を引き継ぐため、社会的責任を果たし続けてまいります。

2026年9月

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合
理事長 小林信夫

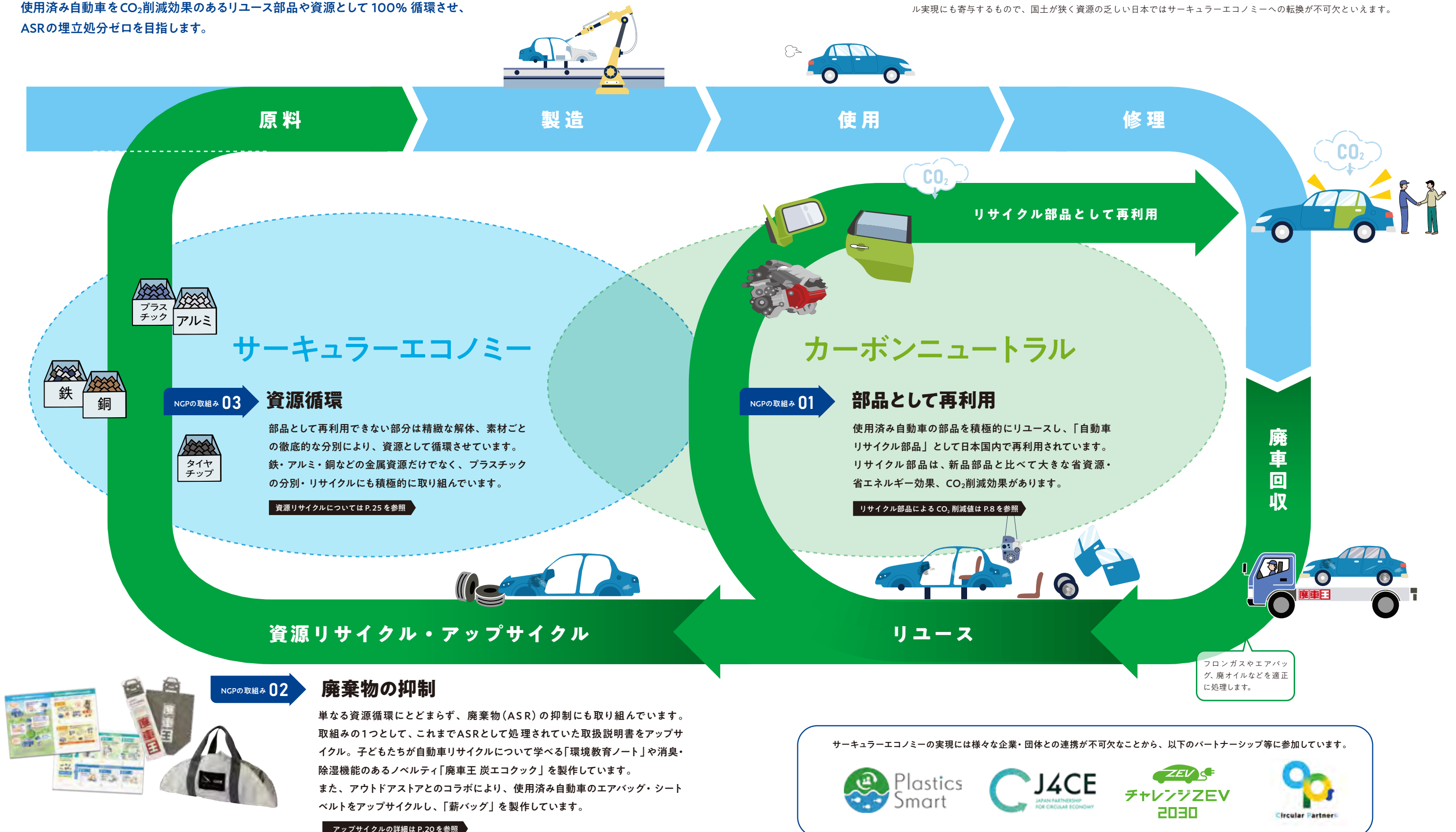


廃棄物の出ない無限リサイクル

使用済み自動車をCO₂削減効果のあるリユース部品や資源として100%循環させ、ASRの埋立処分ゼロを目指します。

サーキュラーエコノミーとは？

サーキュラーエコノミー（循環型経済）とは、従来の3Rの取組みに加え、既存の資源を有効活用して付加価値を生み出し、廃棄物の発生を最小限化することで、資源利用に伴う環境負荷を低減するための経済システムです。可能な限り廃棄物を生み出さず、限られた資源を循環させながら経済成長につなげていくとともに、温室効果ガス削減効果があり、カーボンニュートラル実現にも寄与するもので、国土が狭く資源の乏しい日本ではサーキュラーエコノミーへの転換が不可欠といえます。



サーキュラーエコノミーの実現には様々な企業・団体との連携が不可欠なことから、以下のパートナーシップ等に参加しています。



人と車と地球にやさしく
自動車リサイクル事業を通して、
子どもたちと地球の未来を考えます。

2030 年 NGP の目標

使用済み自動車約 1,000 万台から 2,000 万点以上の自動車リユース部品の生産と適正なリサイクル処理を実施し、50 万トン以上の CO₂ 削減に貢献します。

香川県豊島の産業廃棄物（自動車破砕くず等）不法投棄により失われた自然を取り戻す環境再生活動を行い、環境保全と 3R の大切さを後世に伝える活動を行います。

私たちは自動車リサイクル事業で
SDGsの達成に貢献しています。



12 つくる責任
つかう責任



NGP SDGs MODEL

使用済み自動車から始まる「持続可能な社会の実現」



香川県瀬戸内海にある「豊かな自然に恵まれた島」

1990 年、瀬戸内海にある香川県の豊島（てしま）で、国内最大級といわれる産業廃棄物の不法投棄事件が発覚。不法投棄は1970 年代後半から15 年以上にわたり、「豊かな自然に恵まれた島」は「ゴミの島」と呼ばれるようになりました。不法投棄された廃棄物の多くが使用済み自動車の破砕くず（シュレッダーダスト）ということもあり、NGPにとって切り離せないものでした。

<発覚後の流れ>

2003年10月 廃棄物の撤去開始
2017年 3月 撤去完了、廃棄物の量は 91万トン以上、処理費総額は 700億円以上
2018年 1月 取り残しの廃棄物 610トン発見
2019年 7月 再調査と撤去完了
2022年 3月 地下水が瀬戸内海に流れ出すのを防ぐための遮水壁の撤去完了
2023年 3月 地下水の水質が「排水基準※1」に到達
産廃特措法期限到来、整地完了

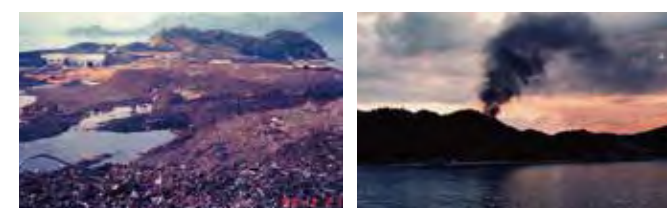
現在、自然の浄化力による「環境基準※2」への到達を目指しています。

2023年 3月 31日「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」の期限が到来し、香川県の産廃処理事業が終了。しかし、地下水は「環境基準」に達していません。今後は雨水の浸透による自然浄化に委ねられており、基準を達成することが出来れば、県から島民側に土地が戻されます。ただ、地下水の環境基準の到達にはさらに 20年から 60年以上かかると推計されています。

「環境破壊の再生には長い年月がかかり、その代償は後世が払うということ」

豊島問題は経済成長のもと、大量生産、大量消費、大量廃棄という効率を求められる社会の中、都会で発生した大量のゴミが小さな島に押しつけられるという社会問題でした。

私たちの地球は資源の枯渇、増加する廃棄物、温暖化問題など深刻な状況にあります。更なるリサイクル化を徹底し、限りある資源の有効利用を進め、ごみの排出量を抑制することで環境負荷を低減し、持続可能な社会の実現を目指す必要があります。



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合では、使用済み自動車の適正処理を高度化し、その使用済み自動車から有効に活用する「リサイクル部品」を社会に提供して、求められる持続可能な社会の実現を果たすとともに、人々の豊かな暮らしと、子どもたちの未来のために、「人」と「車」と「地球」にやさしい組織活動を推進してまいります。

※1「排水基準」：工場排水を川や海に流してもよいとされる基準

※2「環境基準」：人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持することが望ましいとされる基準

目標に対しての2026年度活動報告 2025年9月～2026年8月

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90部品(左右ある部品を含む115部品)と、リビルト部品の3部品を対象に算出した数値です。
NGPの産学共同研究の成果については専用ホームページ「NGPエコプロジェクト」で公開しています。



GOAL

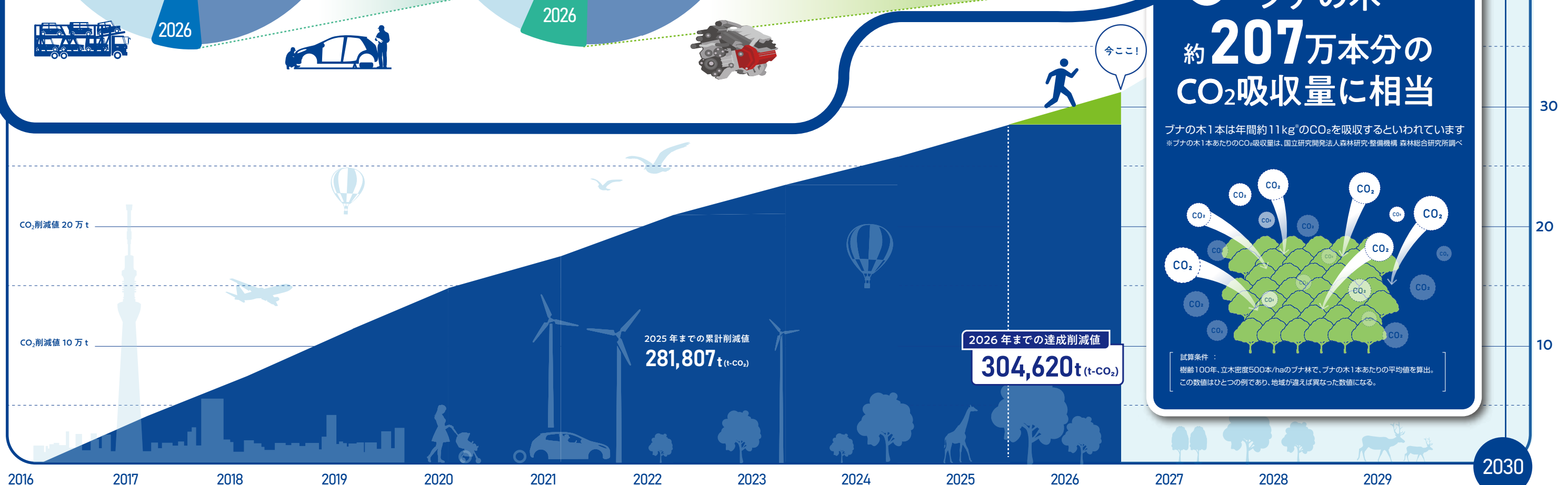
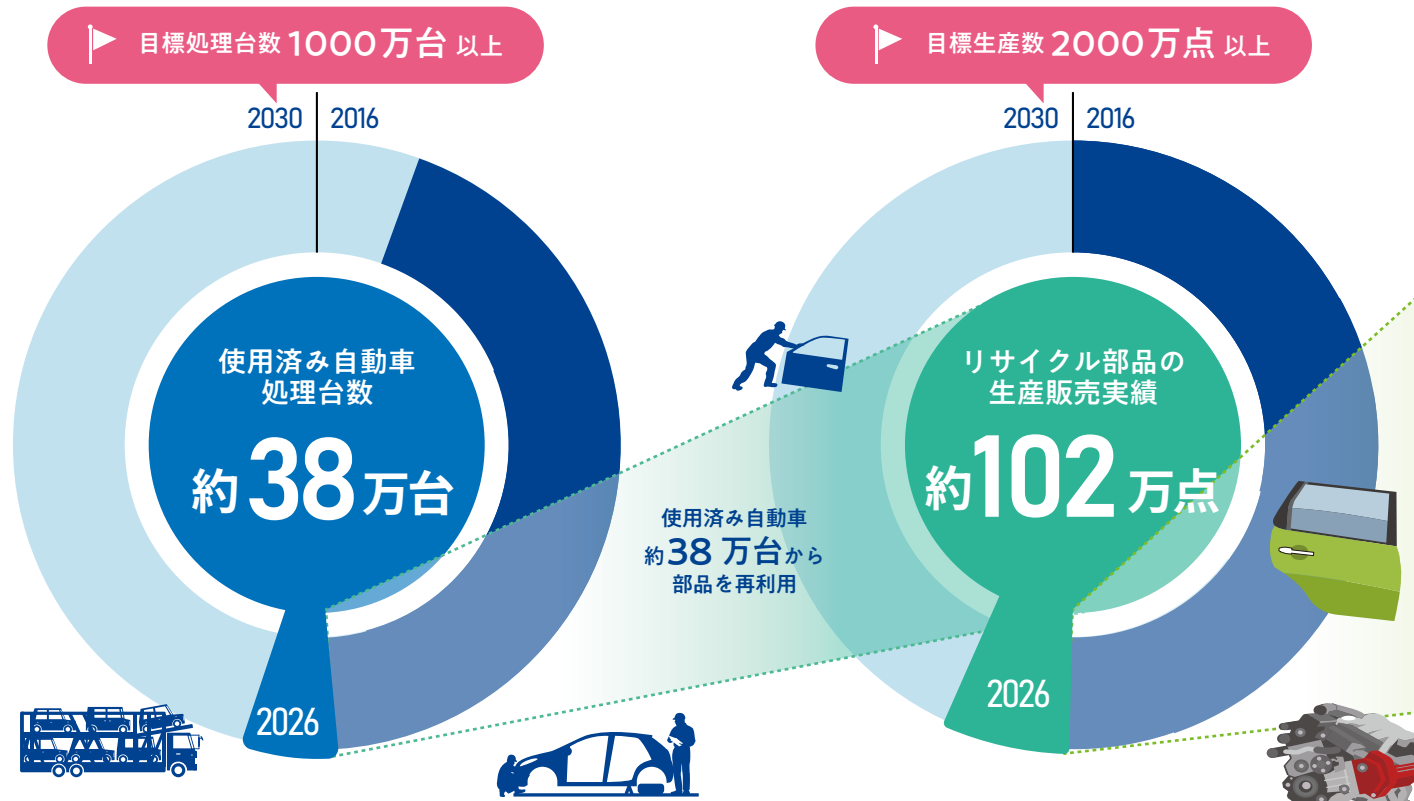
2030年までの目標

使用済み自動車約1000万台から2000万台以上の自動車リユース部品の生産と適正なリサイクル処理を実施し、50万トン以上のCO₂削減に貢献します。

4
質の高い教育を
みんなに

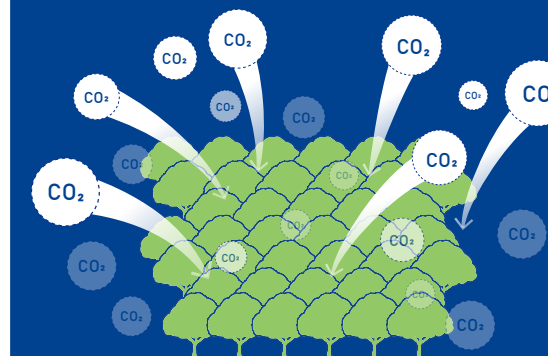
12
つくる責任
つかう責任

13
気候変動に
具体的な対策を



ブナの木
約**207万本**分の
CO₂吸収量に相当

ブナの木1本は年間約11kg^{*}のCO₂を吸収するといわれています
※ブナの木1本あたりのCO₂吸収量は、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所調べ



試算条件：
樹齢100年、立木密度500本/haのブナ林で、ブナの木1本あたりの平均値を算出。
この数値はひとつの例であり、地域が違えば異なった数値になる。

NGP 産学共同研究



2013年5月より、NGPは自動車リサイクル部品の環境貢献度を「見える化」し、ユーザーの理解と選択を後押しすることで、サーキュラーエコノミーの実現に貢献することを目的として、富山県立大学・明治大学との「自動車リサイクル部品産学共同研究会」を開始しました。現在、リユース部品は90部品（左右ある部品を含むと115部品）、リビルト部品は3部品についてCO₂削減貢献度を算出しています。引き続き、リサイクル部品の調査対象を増やすと共に、部品に利用される材料の変化にも対応するなど、研究を積み重ねてまいります。

（2025年9月～2026年8月は、WEBでの会議を11回、工場調査を2回実施）



2025 年 9 月 4 日

井上全人教授、山田周歩講師が「第 35 回設計工学・システム部門講演会」にて部門賞・部門表彰を受賞

一般社団法人日本機械学会が主催する「第35回設計工学・システム部門講演会」において、NGP産学共同研究会のメンバーである明治大学理工学部機械情報工学科 井上全人教授が「部門賞（業績賞）」を受賞、富山県立大学工学部機械システム工学科 山田周歩講師が「部門表彰（奨励業績表彰）」を受賞しました。



2026 年 3 月 30 日～31 日

第 5 回「大型自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」を実施

予測式の精度向上を図るため、調査数を増やすことを目的として、会員各社が部品の素材や重量の調査に取り組めるよう、調査方法を共有しました。合わせて、工場ごとの違いによるリサイクル部品生産時のエネルギー消費量を把握するため、トラック1台分の解体工程についても調査を行いました。NGPから本部スタッフ4名、サステナブル総務委員会4名、富山県立大学からは先生を含む3名、JTPからは環境委員会を含む9名が参加し、総勢20名での調査となりました。



2026 年 8 月 24・25 日

株式会社桃太郎部品にて工場調査を実施

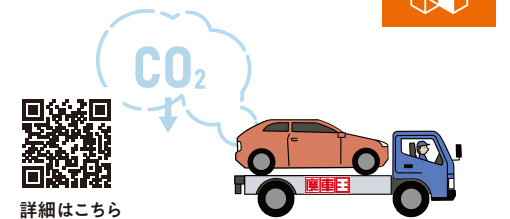
研究を担う学生が入り替わることから、毎年工場調査の機会を設けており、今回はNGP組合員の株式会社桃太郎部品にて2日間の調査を実施しました。使用済み自動車がどのように解体され、部品や資源として再利用されていくのか、一連の工程を実際に見学するとともに、部品の素材や重量の測定にも取り組みました。また、リサイクル部品生産時のCO₂排出量を把握するため、各工程の電力量の測定や動画撮影も実施しました。現場で得た気づきや疑問を研究につなげながら、自動車リサイクルへの理解を深める機会となりました。



カーボンニュートラル・SDGsの取組み支援



NGPでは、自動車リサイクルをする中で得られる環境貢献度を利用して、損害保険会社様、自動車リース会社様、自動車販売業者様、自動車整備工場様等の自動車関連事業者様がカーボンニュートラル・SDGsに取り組むことが可能となるサービスを行っています。



NGPへ使用済み自動車の提供で環境に貢献



リユース部品の積極的な活用で環境に貢献



2026 年 4 月 21 日

NGP が一般社団法人日本 LCA 推進機構 (LCAF) に「賛同会員」として入会

一般社団法人日本LCA推進機構（以下、LCAF）に賛同会員として入会しました。LCAFは、ライフサイクルアセスメント（LCA）の社会的普及および実務支援を目的として2020年に設立された団体です。理事長には、ISO（国際標準化機構）におけるLCAの国際標準化の推進に長年尽力されるなど、同分野において豊富な実績を有する稲葉敦先生が就任されています。本研究において、稲葉敦先生より長年にわたり専門的見地からのご指導・ご助言を賜っております。今回の入会を契機として、これまでの産学共同研究をさらに深化させるとともに、リサイクル部品の環境価値の明確化と社会への発信を一層強化してまいります。



ボランタリークレジット

自動車リサイクル部品の環境価値を評価する世界初[※]のカーボンクレジット方法論を策定

株式会社NGPと株式会社Linkholaは、EARTHSTORYボランタリークレジット制度において、自動車リサイクル部品の活用によるCO₂削減効果を評価する新たな方法論「自動車パーツリサイクル」を策定しました。

本方法論では、使用済み自動車から回収・品質管理されたリサイクル部品を対象に、新品部品を製造・流通させた場合と、リサイクル部品として美化・点検・流通させた場合のCO₂排出量を比較し、その差を削減量として定量化します。これまで評価・流通させる仕組みがなかった自動車リサイクル部品の環境価値を、ボランタリークレジットとして評価するための仕組みです。

※自動車リサイクル部品(リユース部品・リビルト部品の総称)の利用による環境価値を評価するボランタリークレジット方法論の策定として、世界初(Linkhola調べ)



< 本方法論策定の背景と目的 >

世界的な脱炭素化の流れを受け、企業にはサプライチェーン全体のCO₂削減が求められています。新品部品の製造には資源採掘、素材製造、加工、輸送など多くのエネルギーが必要です。一方、使用済み自動車から回収した部品を品質確認・美化したうえで再利用するリサイクルパーツは、新たな資源採掘や製造工程を大幅に削減できるため、環境負荷を低減できます。

NGPは全国の自動車リサイクル事業者で構成される組織として、リサイクルパーツの普及と品質確保に長年取り組んできました。2013年に富山県立大学・明治大学との産学共同研究を開始し、LCA(ライフサイクルアセスメント)に基づく算定手法を確立。現在では90部品(左右区別等を含め115部品)について独自のCO₂削減量算定が可能となっています。しかしこれまで、こうした削減効果を信頼性の高いカーボンクレジットとして評価・流通させるための方法論は、国内外に存在していませんでした。

そこで、独立した制度オーナーである「EARTHSTORY(Linkhola)」は、NGPの実証データ提供を受け、大学等との産学共同研究データ・運用実績を参考にし、第三者審査に耐えうる客観的な算定ロジックを設計。本方法論の開発・策定にいたしました。ルール策定者(制度オーナー)とプロジェクト実施者(NGP等)の独立性を明確に維持し、国際的なクレジットの基準に準拠した方法論・制度ガバナンスを確立しています。



< 新方法論「自動車パーツリサイクル」の概要 >

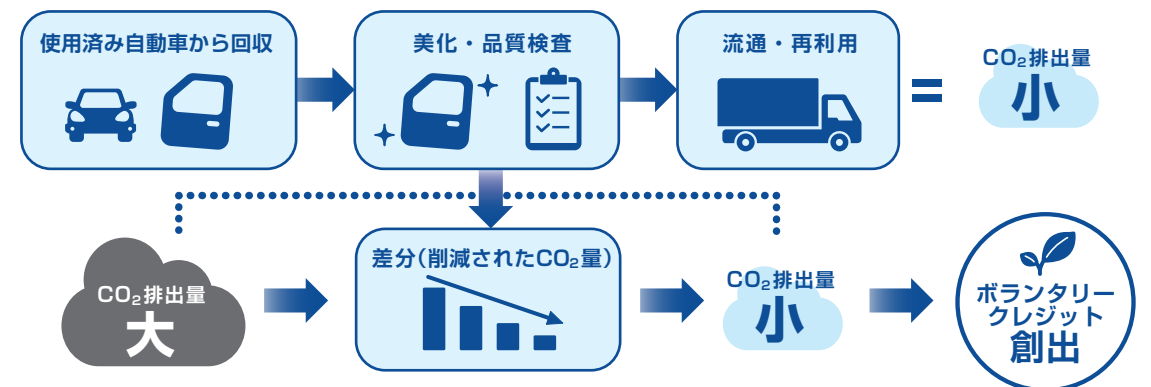
本方法論は、使用済み自動車から適切に回収・品質管理され、再び市場に供給された自動車パーツ(外装・機能部品等)の再利用を対象とします。

- 対象活動: 国内の使用済み自動車から適切に回収された自動車パーツ(リサイクル部品)の再利用。
- 算定方法: 対象パーツを「新品で製造・流通させた場合(ベースライン)」と、「リサイクル部品として美化・点検・流通させた場合」のCO₂排出量の差分を「削減量」として定量化。
- 信頼性の確保: EARTHSTORYボランタリークレジット制度のもと、デジタル技術でデータの透明性・トレーサビリティを確保。独立した第三者審査機関による厳格な検証により、二重計上を防止。

ルート A: 新品部品の場合



ルート B: リサイクル部品 (本方法論)



< 今後の展望 >

NGPとLinkholaは、2025年冬頃から本方法論の策定検討を開始し、外部の環境専門家による客観的レビューと、EARTHSTORY制度運営委員会の厳正な審査を経て、2026年5月27日に正式策定にいたしました。今後、NGPは90部品のうち一部の部品を対象に、本方法論に基づいた「第1号クレジット創出プロジェクト」の申請および登録プロセスを始動します。自動車パーツリユースを対象とした世界初のクレジットとして、2026年秋頃の発行を目指します。

また、NGPは組合全体の取組として、2030年までに、処理台数1,000万台、リユース等2,000万点、CO₂削減量50万t-CO₂の達成を目指しており、本方法論はその実現に向けた重要な基盤となります。創出されたクレジットは、サプライチェーン全体での脱炭素に取り組む企業による活用が期待されます。LinkholaおよびNGPは、本方法論の普及を通じて、自動車産業におけるサーキュラーエコノミーの推進と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

GOAL

2030 年までの目標

香川県豊島の産業廃棄物（自動車破砕くず等）不法投棄により失われた自然を取り戻す環境再生活動を行い、環境保全と 3R の大切さを後世に伝える活動を行います。

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

NGP の目指すゴール

- ▶ 国立公園にふさわしい姿へ原状回復
- ▶ 豊島事件のようなことが二度と繰り返されないよう、環境教育の場として活用
- ▶ 適切な方法で管理し、持続可能な形で次世代に引き継ぐ

2030 年までに不法投棄現場すべてが、国立公園にふさわしい姿にもどることを目指して活動していきます。

豊島再生プロジェクトに関する活動の詳細はこちら
<https://www.ngp.gr.jp/sdgs/teshima/>

NGP 海岸漂着ゴミ回収

プラスチックによる海洋汚染

① 水ヶ浦 (みずがうら)
② 横引ヶ浜 (よこびきがはま)
③ 柚の浜 (ゆのはま)

産業廃棄物不法投棄現場

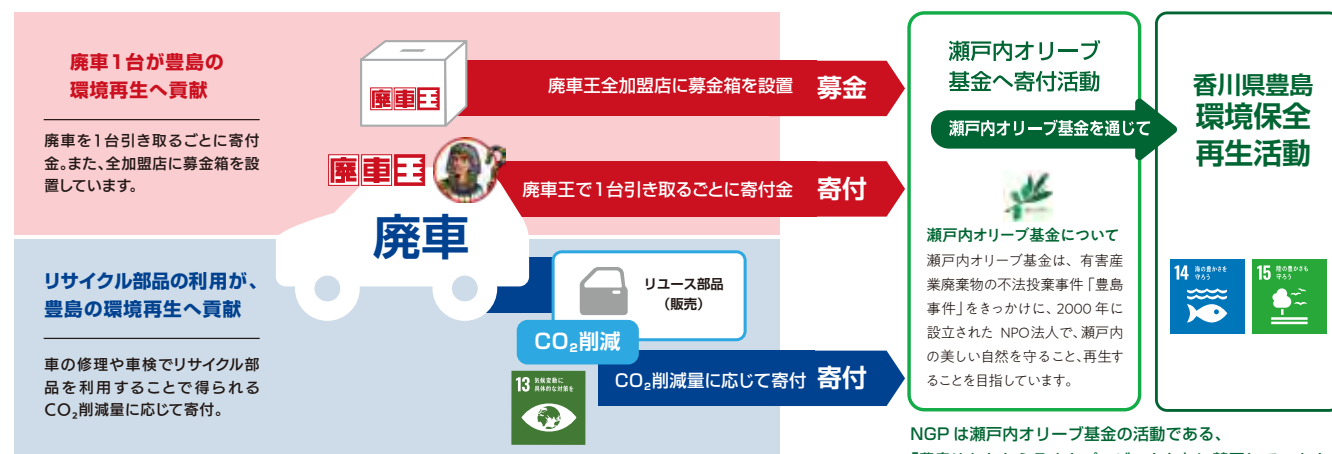
国立公園原状回復活動

① 柚の浜 砂浜復元活動
② NGP オリーブの木 植樹活動
③ 岡山大学連携による植生回復活動
④ 岡山大学・豊島小中学校とのツツジ植樹活動
⑤ 荒地整備

環境教育の場
～豊島のこころ資料館～
外壁補修

瀬戸内オリーブ基金への寄付活動

基金への寄付・募金活動と香川県豊島の環境保全・再生活動を行っています。
 廃車 1 台ごとに、また、リサイクル部品を使用することで得られる CO₂ 削減量に応じて寄付金を「瀬戸内オリーブ基金」へ寄付しています。



2025 年 10 月 27 日

●寄付金目録贈呈

小林信夫理事長、サステナブル総務委員会岸本恭秀委員長、伊地知志郎副委員長から、NPO 法人瀬戸内オリーブ基金の岩城裕理理事長に寄付金目録を贈呈しました。



(左から)
 サステナブル総務委員会 岸本恭秀委員長
 瀬戸内オリーブ基金 岩城裕理理事長
 NGP 事業協同組合 小林信夫理事長
 サステナブル総務委員会 伊地知志郎副委員長

国立公園原状回復活動（岡山大学との植生回復活動）

●岡山大学の植生回復活動について

産業廃棄物不法投棄の影響で荒れた土地に外来植物が繁殖し、変わってしまった豊島の植生を回復するため、2015 年 1 月に豊島住民会議と瀬戸内オリーブ基金が、荒地緑化や環境緑化を専門とする同大学の嶋教授に相談をしたことがきっかけで、2015 年 4 月から植生回復の研究を開始しました。自然の回復力で植生が戻るのが理想ではありますが、豊島に多く自生していたツツジ科の「コバノミツバツツジ」などは人が補助しないと育ちににくいことから、岡山大学や豊島の小中学校で苗木を育ててから植樹しています。不法投棄現場は、見た目は緑が回復しているように見えても、本来そこに自生していた多様性の豊かさは回復していません。

NGP は不法投棄現場跡地を元の美しい豊かな状態に戻すために、2022 年から岡山大学と連携し、植生回復活動を行っています。

2025 年 11 月 11・12 日

豊島の植生が根付いている土地から、種子の混ざった土を運んで撒いた場所の雑草を刈る作業を行いました。種から芽が育ち始めていて、その芽の育成を促進させるために陽の光を妨げる雑草を刈りました。育ち始めている植物の芽も刈ってしまうよう印を付けながら、手作業で行いました。



2026 年 2 月 18・19 日

岡山大学の植生回復活動研究地で雑草を手作業で除去した後、豊島の植物が自生する山から、種子を含んだ表土を採取して研究地に撒く「表土撒き出し」を行いました。自生している植物の種子は地表から約 5cm の土に多く含まれるため、雑草や落ち葉を取り除きながら、広い範囲から丁寧に表土を集めます。採集した土を研究地に撒き、豊島本来の植物が芽吹き、育っていくよう、今後も継続して生育を見守っていきます。



2026 年 5 月 28・29 日

研究地では、これまでの活動で実施した「表土撒き出し法」により、豊島に本来自生していた植物の芽が出始めています。一方で、周辺には背の高い雑草が繁茂し、芽生えた植物に十分な日光が届きにくい状況となっていました。そのため、研究対象となる植物を傷つけないよう注意を払いながら、手作業で雑草を取り除きました。



環境教育活動

豊島を訪れる方に対して、豊島事件で起きたことの理解を深めていただくと共に、環境教育の質をより高めるための活動を行っています。

●「見本園」の整備・拡充

不法投棄現場を見渡せる展望台へと続く階段脇には、かつて豊島に広がっていた自然植生を再現する見本園を設置しています。この園では、外来種の繁殖などによって変化した現在の植生と、本来あるべき豊かな生態系との違いを見比べることができます。



2025 年 11 月 11・12 日

前回の続きとして、「見本園」の整備・拡充を行いました。この場所では、不法投棄の影響によって植生が失われ地面が露出した後、斜面の崩落を防ぐために植えられた外来種のコマツナギなどが繁殖し、以前とは異なる植生となっています。見た目には緑が戻っているように見えても、生育する植物の種類は限られており、本来の豊かな植生が回復しているわけではありません。



豊島に元々自生していた「アラカシ」「トベラ」「クスノキ」「クロガネモチ」「ネズミモチ」の 5 種類、合計 30 本を植樹しました。さらに、豊島本来の植生が残る土地から、さまざまな植物の種子が混ざった表土を運び、植樹した見本園に撒きました。苗木を植えるだけでなく、豊島に自生する植物が芽生える環境をつくることで、より本来の植生に近づけていきます。

嶋教授は「本来の豊島の植生が分かるような見本園を、豊島でとれた竹や砂を使って作ることで、いずれ腐るもの、ゴミにならないもの、豊島の中にあるもので完結させたいと考えています」と語っています。見本園では、現在の植生と本来の植生を実際に見比べることで、自然を元の姿へ戻すことの違いを知ることができます。



●不法投棄現場を見渡せる展望台の整備

豊島には、かつての産業廃棄物不法投棄現場を見渡せる展望台があり、環境問題を学ぶ場として多くの方が訪れています。しかし、周辺に枯れ木や雑草が生い茂り、現場を見渡しにくい状態となっていました。そこで、訪れた方々が不法投棄事件の歴史や環境問題について学びやすい環境を整えるため、枯れ木や雑草の除去を行いました。

2026 年 5 月 28・29 日

展望台へ続く階段には石や土が堆積し、歩きにくい状態となっていました。見学に訪れる方々が安全に利用できるよう、石や枯れ枝を取り除き、階段の表面を均す作業を行いました。特に子どもたちが安心して見学できるよう、足元の環境整備に努めました。



不法投棄現場見学

毎回、初参加者は、豊島での活動の意義を知ることを目的に「産業廃棄物不法投棄現場」や「豊島のこころ資料館」の見学を行っています。実際に現場で生の情報に触れることで、豊島事件の重大さ・深刻さはもちろんのこと、自動車のリサイクル・適正処理の大切さや環境の再生には長い年月がかかることを肌で感じています。

2026 年 2 月 18・19 日

2026 年 5 月 28・29 日

「豊島事件」の概要と、本活動の意義について正しく理解してもらうため、見学会を実施しました。不法投棄を起こした業者の元事務所を活用した「豊島のこころ資料館」では、廃棄物対策豊島住民会議の石井亨さんより「豊島事件」の歴史や悲惨な状況、住民たちの壮絶な闘争の歴史、熱い思いを聞き、当時の写真や産廃（シュレッダーダスト）の剥ぎ取りを実際に見て、「豊島事件」と不法投棄現場の現況について学びました。



第 13 回グッドライフアワード 実行委員会特別賞環境ひとづくり賞

環境省が主催する「第 13 回グッドライフアワード」において、「地域の記憶を未来へつなぐー香川県豊島の環境再生活動と環境教育の挑戦ー」をテーマに「実行委員会特別賞環境ひとづくり賞」を受賞しました。豊島での環境保全・再生活動としては、今回が初の受賞となります。



2026 年度の活動報告

2025 年 9 月～ 2026 年 8 月



井上全人教授、山田周歩講師が「第35回設計工学・システム部門講演会」にて部門賞を受賞

2025.09



「第13回グッドライフアワード」にて「実行委員会特別賞環境ひとづくり賞」を受賞

2025.11



日本最大級の環境展『エコプロ2025』に出展

2025.12



第5回「大型自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」

2026.03



自動車リサイクル部品を対象とした世界初※の方法論を策定

2026.06

2025

2026

2025.10



第21回通常総会を新横浜にて開催

2025.11/2026.02/2026.05



第19回～第21回(計3回)NGP香川県豊島環境保全・再生活動

2025.12/2026.02



中学生・高校生の企業訪問受け入れを実施

2026.03



(株)NGP、「健康経営優良法人2026 (中小規模法人部門)」の認定を取得

2026.04



一般社団法人日本LCA推進機構(LCAF)に「賛同会員」として入会

※自動車リサイクル部品(リユース部品・リビルト部品の総称)の利用による環境価値を評価するボランティア・クレジット方法論の策定として、世界初(Linkhola調べ)

2025.09～2026.08

組合員向け研修会の開催

- 第36回中級生産管理者研修会・中級フロントマン研修会
- 第35回基礎研修会
- 第25回ハイブリッド・次世代技術セミナー
- 第21回初級生産管理者研修会・初級フロントマン研修会
- 第5回スキャンツールセミナー
- 第37回経営者研修会



Activity
report

2025.09.01
2026.08.31

日本最大級の環境展示会『エコプロ 2025』に出展

2025年12月10日から12日まで、東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境展「エコプロ2025」に出展しました。地球温暖化や資源の枯渇、増え続ける廃棄物といった課題を背景にサーキュラーエコノミーへの関心が高まる中、NGPは「自動車リサイクルが環境に優しい」ことをより深く理解していただくため、サーキュラーエコノミーを軸とした動画やクイズを体験できるブースを展開しました。さらに、動画を視聴しアンケートに回答いただいた方には、自動車のエンブレムをプレゼントしました。

展示では、使用済み自動車やリサイクル部品の実物に加え、通常は廃棄される素材を活用したアップサイクル製品、自動車から回収される資源の実物を紹介しました。アンケート結果からは、NGPの取組みが分かる動画やクイズ、リサイクル部品の実物展示が特に印象に残ったことがうかがえました。子どもから大人まで幅広い来場者に対し、自動車リサイクルが環境に優しいこと、そしてサーキュラーエコノミーを実践していることをしっかりと伝えることができました。



リサイクル部品の展示

毎年大人気のエンブレム

廃棄される素材を活用したアップサイクル製品



質の高い教育を
みんなに

NGP アップサイクルプロジェクト ～廃棄物から価値あるものへ～

廃車から排出される廃棄物を削減するために、これらを回収・有効活用し、価値あるものに生まれ変わらせる取組みを行っています。



NGP UPCYCLE PROJECT 第3弾

アウトドアストアとのコラボで エアバッグとシートベルトから「薪バッグ」を製作

エアバッグとシートベルトは非常に強い生地のため、アウトドア用品に最適です。アウトドアライフストア「WILD-1」とのコラボで「薪バッグ」を製作しました。



NGP UPCYCLE PROJECT 第2弾

廃棄物となっていた取扱説明書から、 「環境教育ノート」を製作

回収した取扱説明書をアップサイクルして、子どもたちが3Rの大切さを学べる「環境教育ノート」を製作しています。



NGP UPCYCLE PROJECT 第1弾

2つの廃棄物を掛け合わせて、消臭・除湿機能のある 「廃車王炭エコクック」を製作

廃車の取扱説明書と梅の種を炭化した「梅炭」を活用し、アップサイクルノベルティ「廃車王炭エコクック」を製作しています。



組合員のSDGs 取組み状況と促進

📍(株) マルトシ青木 (静岡県藤枝市)

2026年2月24日

沼津学園飛龍高等学校

NGP組合員である株式会社マルトシ青木(静岡県藤枝市)は2月24日、沼津学園飛龍高等学校(静岡県沼津市)の自動車工業科2年生35人と教員2人による工場見学を受け入れました。

当日は、自動車リサイクル事業の概要、解体や破砕工程、法的制度などの事前説明に加え、リサイクル部品流通の検索販売システムや環境保全活動、「廃車王」をはじめとした取組み等を説明しました。

その後、工場見学を通じて、使用済み自動車から部品を取り外すまでの一連のリサイクル工程や自動車処理の流れを確認し、金属資源の有効活用や適正処理作業についても紹介しました。



バーチャル工場見学を実施

福岡県福岡市のアフタースクール「キッズガリレオ福岡駅前校」の子どもたちを対象に、バーチャル工場見学会を実施しました。自動車リサイクル工場の映像を通じて、使用済み自動車の適正処理やリユース部品の生産、素材ごとの分別や資源回収について学んでいただきました。質疑応答も交えながら、資源循環や自動車リサイクルの大切さを伝える機会となりました。



質の高い教育を
みんなに

中高生のSDGs企業訪問を受入れ

修学旅行におけるSDGsをテーマとした企業訪問学習で、中学2年生5名と高校2年生8名の計13名の受け入れを実施しました。

事業内容やSDGsへの取組みを動画で紹介し、廃車の部品の実物を見ながら、解体や素材ごとの分別について学んでいただきました。

また、香川県豊島の環境保全・再生活動やNGP アップサイクルプロジェクトなどの具体的な取組みも紹介し、自動車リサイクルの流れ、資源リサイクルの大切さを伝えることができました。



2025年12月15日

長崎県立佐世保高等学校
(長崎県佐世保市)



2026年2月5日

川崎市立東橋中学校
(神奈川県川崎市)



質の高い教育を
みんなに

交通遺児育英会の活動支援

保護者の交通事故が原因で経済的に修学が困難となる子どもたちが一人でも減ることを願って、NGPは1991年より35年間、売上の一部を交通遺児育英会の「あしながおじさん奨学金制度」に寄付しています。



質の高い教育を
みんなに

ベルマーク運動

●2012年2月ベルマーク協賛加盟

2011年3月11日に発生した「東日本大震災」をきっかけに、全国の子どもたちのためにベルマーク支援活動を行っています。



質の高い教育を
みんなに

「廃車王」新テレビCMを放送

2026年5月より、廃車買取サービス「廃車王」の新しいテレビCMの放送を開始しました。CMでは、古い車や車検切れ車、走行不能車など、お車の状態に応じて最適な形で高価買取を行う「廃車王」のサービスを紹介しています。

お引き取りした車を適正に処理し、まだ使える部品からリユースパーツを生産、残りは素材ごとに分別して鉄やアルミなどの資源としてリサイクルしています。

CMを通じて廃車王をより多くの方に知っていただき、不要になった車を資源として有効活用する選択肢を広げることで、資源循環の促進につなげていきます。

廃車王についてはコチラ



健康経営優良法人2026(中小規模法人部門)の認定取得

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合の関連会社である株式会社NGP(東京都港区、代表取締役:佐藤幸雄)は、経済産業省と日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2026(中小規模法人部門)」の認定を取得しました。

株式会社NGPでは、2022年9月に中堅・若手社員による「健康経営プロジェクト」を立ち上げ、「運動機会の増進」「食生活の改善」「メンタルヘルス対策」の3点に重点を置いて取り組みを拡大しました。今後もより一層、健康経営の充実を図ってまいります。



お客様へ感謝を込めて、NGP 宝くじキャンペーンを開催

日頃の感謝を込めて「NGP宝くじキャンペーン」を実施しました。NGPリユース部品のガランティシール5枚を1口としてご応募いただき、ベルマークは最寄りの小学校などへの寄贈を呼びかけました。皆さまのご協力により、今回は過去最多となる10,203通の応募が寄せられました。



ISO 一括合同認証取得

- 2016 年 9 月 : 「ISO9001/14001/27001」を業界初となる一括合同認証取得
- 2018 年 11 月 : 「ISO45001」をプライベート認証取得

組合員会社130社のうち100社※が取得。
全社取得に向け鋭意邁進中!

※2025年9月時点



NGPはこれら ISO マネジメントシステムに裏付けられた組合活動・企業経営により、自動車リサイクル事業を通して地域社会とお客様、さらにはすべてのステークホルダーの皆様のご期待にお応えする活動を推進していきます。



被災地復興支援活動

NGPは地震や豪雨による洪水や土砂など被害を受けた車両の引き上げ、処理活動などを通じて被災地支援を行っています。2011年の東日本大震災をはじめ、近年頻発する記録的な豪雨や台風などの自然災害は、地域の交通や生活に深刻な影響を及ぼしており、被災した車両の適切かつ迅速な回収は、復旧活動を支える重要な役割を担っています。

これまでも全国の加盟事業者ネットワークを活かし、全国各地の災害時において、各エリアの加盟事業者を中心に被災地支援を継続してきました。NGPは、今後も積極的に被災地支援活動を行っています。



令和8年8月 千葉豪雨の発生を受け、災害対策本部を設置

2026年8月、関東甲信越地方を襲った記録的な大雨により、千葉県を中心に甚大な被害が発生しました。

NGPでは被害の発生を受け、8月14日に藤原庸正副理事長を本部長とする「災害対策本部」を設置。千葉県内3カ所に被災車両を受け入れる専用ヤードを設け、8月19日から被災車両の引き上げ活動を開始しました。



被災車両による二次被害を防ぎ、被災地の一日も早い復旧・復興につなげるため、
NGPでは3つの取組みを連動させ、迅速な車両引き取りを行っています。

01

現場での被災車両回収

水没によりパーキングブレーキが解除できない車両や、積載車が入りにくい住宅地からの搬出など、通常よりも困難な状況の中で、近隣支部の組合員がレッカー車や積載車を出動させ、被災車両の回収にあたりました。NGPの全国ネットワークを活かし、地域を超えて協力することで迅速に引き取りを行っています。



02

ヤードでの受け入れ・車両管理

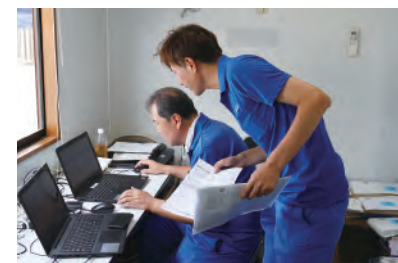
回収した被災車両は専用ヤードに集約し、車両の状態確認や情報管理を行うとともに、損害保険会社や引取先との調整を実施しています。円滑な車両の受け入れ・搬入ができるよう、現場と事務所が連携し、正確かつ迅速な対応に努めています。



03

独自システムによる情報連携

被災車両の引き上げには、NGPが自社開発した「水害車両管理システム」を活用しています。現場で撮影した車両の画像や依頼状況、回収の進捗をシステムに登録し、損害保険会社とリアルタイムで情報を共有することで、依頼から回収・搬入までのリードタイムを短縮しています。



組合員向け研修会の開催

第36回 中級生産管理者研修会 中級フロントマン研修会



開催日 2025年9月29日～10月1日

開催場所 あいおいニッセイ同和自動車研究所
(静岡県裾野市)

生産管理とフロント部門の専門講義、マネージメント講義を通じて、PDCAやリーダーシップの重要性を学びました。今後の業務改善や人材育成への活用が期待されます。

第35回 基礎研修会



開催日 2026年4月21日～23日

開催場所 BumB 東京スポーツ文化館
(東京都江東区)

三大信条をはじめとしたNGPの基本理念をしっかりと体得するための研修会であり、研修生同士が協力し合って様々な試験を乗り越え、ビジネスマンに必要な能力を身に付けました。

第25回 ハイブリッド・ 次世代技術セミナー



開催日 2026年6月25日～26日

開催場所 あいおいニッセイ同和自動車研究所
(静岡県裾野市)

ハイブリッドシステムの種類や構造を学ぶとともに、低圧電気取扱特別講習、HVシステム実車解説、高電圧部品脱着作業、ASV基本知識と作動点検、エーミング調整などの実習を通じて、電動車に対する知識を深めました。

第21回 初級生産管理者研修会 初級フロントマン研修会



開催日 2026年7月13日～15日

開催場所 BumB 東京スポーツ文化館
(東京都江東区)

生産・フロントの基本業務や、NGPの理念・歴史、業界動向などを学ぶとともに、NGPシステムの基礎知識や運用・活用方法を習得。業務への理解を深め、実践的・専門的な知識を身につけました。

第5回 スキャンツールセミナー



開催日 2026年7月27日～28日

開催場所 あいおいニッセイ同和自動車研究所
(静岡県裾野市)

スキャンツールの基本操作や機能を学ぶとともに、実車を用いた故障診断や電装部品の故障箇所特定の実習。さらに高度な診断技術や異常原因の究明方法を習得し、再利用可能な部品を見極める力と生産能力の向上を図りました。

第37回 経営者研修会



開催日 2026年8月24日～27日

開催場所 BumB 東京スポーツ文化館
(東京都江東区)

NGPの理念と実践への理解を深めるとともに、経営者・後継者として必要な経営力の強化を目的に実施しました。ビジネスモデル設計や決算書の読み方、財務分析、資金調達の考え方などを学び、内外の視点から自社の経営を捉え直し、「勝ち企業」となるための考え方と実践力を身につけました。

組合の資源回収実績

自動車には、鉄をはじめとする様々な素材が使用されています。NGPでは、使用済み自動車から再利用可能な部品を取り外した後、部品として再利用できない部分は、素材ごとに徹底的に分別して最大限のリサイクルを行い、資源循環によって持続可能な社会に貢献しています。

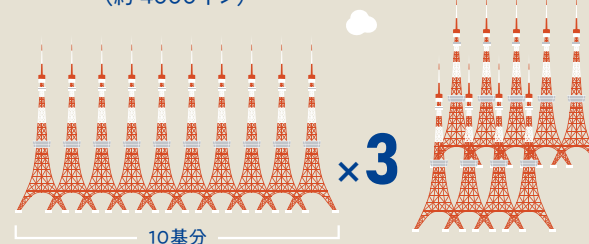


鉄の回収実績

自動車のフレーム、ドアやサスペンション等の部品から鉄資源を回収しています。

15万4,272トン

東京タワー：約39基分
(約4000トン)



※鉄スクラップに含まれる不純物を差し引いた重量です。

銅の回収実績

自動車の配線から銅資源を回収しています。

1,662トン

奈良の大仏：約7体分
(約250トン)



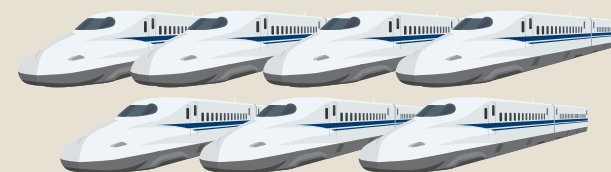
※銅スクラップに含まれる不純物を差し引いた重量です。

アルミの回収実績

アルミホイールなどのアルミ素材の部品からアルミ資源を回収しています。

4,851トン

新幹線のぞみ
16両編成(約700トン) × 7



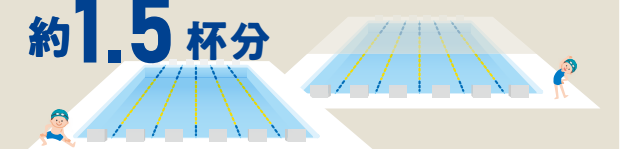
プラスチックの回収実績

バンパーや内装材などの部品からプラスチックを回収しています。

456トン

学校などにある25mプール(幅：12メートル、深さ：1メートル)の水の重さ、約300トンに例えると

約1.5杯分



このプラスチック456トンのリサイクルすることによって、ゴミの削減に貢献しています。

※プラスチックは通常、回収しなければ焼却されゴミとなりますが、新たなプラスチック製品の資源としてリサイクルされた実績です。

1985年	4月	九州3社により「西日本グッドパーツグループ」としてスタート
1987年	3月	本部設立、事務所を福岡に開設
	4月	「日本グッドパーツ (NGP) グループ」に名称変更
1989年	6月	NGP オンラインネットワーク完成
1990年	11月	株式会社エヌ・ジー・ピーを設立(現：株式会社NGP)
1991年	1月	「NGP ニュース」を創刊
1998年	10月	「リサイクル部品協力店」14,000 店達成
1999年	6月	NGPグループ本部を東京に移転
2000年	5月	大東京火災海上保険(株) (現：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社) との間でリサイクル部品供給、及び全損車両回収業務提携
2003年	9月	NGPグループ本部を東京都港区に移転
2004年	10月	「NGP日本自動車リサイクル事業協同組合」設立(経済産業省所管)
2005年	6月	NECソフトとの共同開発による新NGPシステム完成
	11月	廃車買取サイト「くるマック」全国展開 (現：廃車王)
2006年	12月	エコプロダクツ 2006 に出展 (以降、毎年出展)
2007年	9月	ISO9001 認証取得 (NGP組合本部)
2008年	9月	海外向け NGP 個社ダイレクトシステム運用開始
2009年	3月	リターナブル梱包材運用開始
2010年	10月	ユーザー向けに優良な整備事業者を紹介するWebサイト「NGPエコひろば」開設
	4月	リユース部品にベルマークをつけてベルマーク運動に協賛
2012年	10月 業界初のテレビ CM 放映開始	
	1月	全国自動車整備協業協同組合協議会とのリサイクル部品流通に関する提携合意調印
	5月	「自動車リサイクル部品産学共同研究会」を発足
2013年	12月	廃車買取サイト「くるマック」を「廃車王」にリニューアル
	3月	「東日本自動車解体処理協同組合」と業務提携
	9月	ISO9001・14001合同認証取得 (組合本部/組合員70社)
2016年	3月	「クルーパー」とNGPシステム連携開始
	4月	CO ₂ 削減効果値の理論的根拠の発表
	9月	ISO27001合同認証追加取得 (組合本部/ 組合員101社)
	10月	NGP 創立 30 周年記念式典を開催
2017年	「中小企業団体全国大会」にて「優良組合」として表彰	
	8月	「NGP産学共同研究会」主要売れ筋部品「91.4%」のCO ₂ 削減効果値を算出
2018年	10月	「ブロードリーフ」と業務提携
	6月	

2018年	4月	「廃車王」業界初の全国テレビ CM 放映
	11月	ISO45001 合同認証追加取得 (組合本部/組合員101社)
	7月	SDGs宣言及び取組み推進活動開始
2019年	1月	NGPシステム大幅改良 (一般向け形状マスター化)
2020年	2月	「第17回LCA日本フォーラム表彰」にて「経済産業省 産業技術環境局長賞」を受賞
	「NGPアップサイクルプロジェクト」始動	
	3月	「第24回中小企業組織活動懸賞レポート」にて「本賞」を受賞
	5月	「NGPバーチャル工場見学会」開始
	6月	「ビィ・フォアード社」と業務提携
	12月	「第22回グリーン購入大賞」にて「大賞・経済産業大臣賞」を受賞
	「令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞	
2022年	5月	NGP パーツ王「ヤフオク!店」及び「Yahoo!ショッピング店」をオープン
	9月	業界初の取組みとなる自動車リサイクルを通じたカーボンニュートラル・SDGsの取組み支援サービスを開始
	NGP協同組合が「第5回エコプロアワード」にて「経済産業大臣賞」を受賞	
	11月	「2022年度持続可能な社会づくり活動表彰」にて「資源循環活動賞」を受賞
2023年	1月	「第2回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」にて「グッドパートナー事業」に選定
	2月	「脱炭素チャレンジカップ2023」にて「奨励賞」を受賞
	3月	NGPパーツ王「ヤフオク!ベストストアアワード2022」にて「急上昇ストア賞」を受賞
	4月	日本国内最大級の自動車リサイクル部品の在庫共有ネットワーク「オールリサイクルパーツネットワーク」が誕生
	7月	NGPグループ本部を東京都港区高輪から同区港南に移転
2024年	3月	「NIKKEI脱炭素アワード2023」にて「奨励賞」を受賞
	NGPパーツ王「ヤフオク!ベストストアアワード2023」にて「自動車パーツ部門賞」を受賞	
	10月	「令和6年度資源循環技術・システム表彰」にて「脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞」を受賞
	3月	(株)NGP「健康経営優良法人2025 (中小規模法人部門)」認定取得
2025年	11月	「第13回グッドライフアワード」にて「実行委員会特別賞環境ひとづくり賞」を受賞
	3月	(株)NGP「健康経営優良法人2026 (中小規模法人部門)」認定取得
2026年	6月	自動車リサイクル部品の環境価値を評価する世界初のカーボンクレジット方法論を策定

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

●所在地：
[本部]
〒108-0075 東京都港区港南 2-12-32 サウスポート品川 4F
TEL：03-6705-1208
FAX：03-6705-1209
URL：https://www.ngp.gr.jp/

●創立：1985 年 4 月

●代表者：理事長 小林 信夫

●組合員数：130 組合員、156 拠点

●事業内容：
全国の組合員ネットワークを基盤とした、使用済み自動車の適正処理、リサイクル部品の生産・流通、資源循環の推進、共同事業・人材育成等を通じた組合員企業の事業支援、自動車リサイクルの普及・啓発

●受賞歴
2016年 10月 「中小企業団体全国大会」にて「優良組合」
2021年 2月 「第17回LCA日本フォーラム表彰」にて「経済産業省 産業技術環境局長賞」
3月 「第24回中小企業組織活動懸賞レポート」にて「本賞」
12月 「第22回グリーン購入大賞」にて「大賞・経済産業大臣賞」
「令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰」
2022年 9月 「第5回エコプロアワード」にて「経済産業大臣賞」
11月 「2022年度持続可能な社会づくり活動表彰」にて「資源循環活動賞」
2023年 1月 「第2回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」にて「グッドパートナー事業」
2月 「脱炭素チャレンジカップ2023」にて「奨励賞」
3月 NGPパーツ王「ヤフオク!ベストストアアワード2022」にて「急上昇ストア賞」
2024年 3月 「NIKKEI脱炭素アワード2023」にて「奨励賞」
NGPパーツ王「ヤフオク!ベストストアアワード2023」にて「自動車パーツ部門賞」
10月 「令和6年度資源循環技術・システム表彰」にて「脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞」
2025年 11月 「第13回グッドライフアワード」にて「実行委員会特別賞環境ひとづくり賞」

株式会社 NGP

株式会社 NGP は、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合の関連会社です。
協同組合と一元一体体制のもと、NGP グループ支援を中心に事業展開をしております。

●所在地：
〒108-0075 東京都港区港南 2-12-32 サウスポート品川 4F
TEL：03-6705-1212
FAX：03-6705-1201
URL：https://www.ngp.co.jp/

●設立：1990 年 11 月

●代表者：代表取締役 佐藤 幸雄

●事業内容：
NGPシステムの運営・管理、損害保険会社・リース会社等からの使用済み自動車引取窓口業務、各種事業の企画・運営、組合員企業の事業支援

●許認可：
古物商許可：東京都公安委員会第 301090207822 号
引取業者登録番号 :20131004378



NGP 三大信条

「お客様第一！」
「よりよい商品を！より正確に！より早く！」
「補修部品業界のリーダーたること！」

SDGsの達成には、1団体の取組みだけでなく、様々な団体と連携しながら取組みを拡大させていくことが不可欠なため、国が設置しているプラットフォームに参加しています。

